

TPP参加反対の表明を

慎重に対応するよう要請



本市の主な農業である稲作(稲刈りの様子)

塩貝建夫 議員(共産党)

① TPP参加は、日本経済、地域経済のあらゆる分野に多大な悪影響を及ぼすと懸念されている。そこで、市長、農業

委員会会長は政府にTPP反対の意見表明を行え。市長 全国市長会を通じて、詳細な情報を開示し、十分な議論を尽くし、国民的な合意を得た上で、慎重に対応するよう国に要請している。

野については、農業の残留基準などの安易な緩和により、安全性への懸念が推測されている。なお、お茶については、TPP参加加盟国ではない中国からの輸入が大半を占めており、影響は少ないと想定されている。全国農業会議所、府農業会議所と連携して、TPP交渉に参加しない旨の署名運動の実施や、農業生産者への影響について情報開示を要請してきた。

② 学校、保育所給食食材の地元産食材を拡大するための方策について玉ねぎ、ジャガイモ、ナス、白菜、大根などの利用拡大ができないか。④市内のお茶を学校へ導入することができないか。

⑤ 市内の事業者について、CO2削減目標を出すべき。市民についても、環境家計簿の普及や公共交通の利用促進など省エネについての対策が必要。雨水タンクの設置

⑥ 視覚障がい者の外出を保障するため、山手幹線京銀前大住ヶ丘交差点に音響式の信号設置を。安心まちづくり室長

⑦ 松井山手駅前には、白地や近隣住民と調整を図り、警察に相談したい。

⑧ 平和施策として、小中学生の広島派遣事業を来年度も実施すべき。

総務部長 協議会で協議し、決められる。

脱原発の地球温暖化対策計画を

国の結果を踏まえ対応

水野恭子 議員(共産党)

① 実効性ある地球温暖化対策実行計画を。地球温暖化による影響は、くらしや社会、経済のすべてに影響が出ている。計画の期間、温室効果ガスの削減目標は。

「安全・低コスト・CO2削減」を進めてきたが、「原発は温暖化対策にならない」ことを計画の中でも位置づけ、再生可能エネルギーへの利用促進を図るべき。

② 政府は今まで原発を削減の数値は出す。CO2削減の数値は出す。

③ 再生可能エネルギーの利用促進のため、太陽光発電システムの設置に

④ 公的施設の太陽光発電の導入目標は。推進委員会での議論する。

⑤ 市内の事業者について、CO2削減目標を出すべき。市民についても、環境家計簿の普及や公共交通の利用促進など省エネについての対策が必要。雨水タンクの設置

⑥ 視覚障がい者の外出を保障するため、山手幹線京銀前大住ヶ丘交差点に音響式の信号設置を。安心まちづくり室長

⑦ 松井山手駅前には、白地や近隣住民と調整を図り、警察に相談したい。

⑧ 平和施策として、小中学生の広島派遣事業を来年度も実施すべき。



太陽光発電パネルが設置され省エネに取り組む住宅

② 政府は今まで原発を削減の数値は出す。CO2削減の数値は出す。

③ 再生可能エネルギーの利用促進のため、太陽光発電システムの設置に

④ 公的施設の太陽光発電の導入目標は。推進委員会での議論する。

⑤ 市内の事業者について、CO2削減目標を出すべき。市民についても、環境家計簿の普及や公共交通の利用促進など省エネについての対策が必要。雨水タンクの設置

⑥ 視覚障がい者の外出を保障するため、山手幹線京銀前大住ヶ丘交差点に音響式の信号設置を。安心まちづくり室長

⑦ 松井山手駅前には、白地や近隣住民と調整を図り、警察に相談したい。

いじめを解決する対策は

関係機関と連携とる

上田 毅 議員(無会派)



いじめ問題を考えるパンフレット

① 市有地と民地の境界 問題について、民地であるのに道路区域箇所を含まず、市は計画道路を前に提約50㎡バックするよう指導したが、固定資産・都市計画税を20数年間課税し所有者が税金を支払っている。市の怠慢であり、個人財産を行政の都合で扱っている。他にも同じ問題を抱えている箇所があるかどうか。

② 棕鳥問題について。必要環境対策はネクスクに要請している。ネクスクとは協議調整する場を設け、連携し事業にあたる。環境影響調査は近隣市町と意見交換しながら対応していく。

③ 木津川の通称「100円橋」の通行無料化の取り組みを求める。建設部長 当該区間だけ無料にする合理的根拠はなすべき。

豪雨増水の対策は 合流部未改修の整備

青木綱次郎 議員(共産党)



吉原川と防賀川の合流部

① 新名神高速道大津城陽間、八幡高槻間の「凍結」解除は不要不急の大規模公共事業の復活であり

② 市北部を通る新名神城陽八幡間について、防

③ 木津川の通称「100円橋」の通行無料化の取り組みを求める。建設部長 当該区間だけ無料にする合理的根拠はなすべき。

④ 大雨被害の状況は。危険管理監 主な被害は大住小前道路の陥没、普賢寺小付近の冠水、松井区の床下浸水など。

⑤ 被害を受けた住民への支援を。今後、被害防止の住宅改修などへの支援制度の創設を。

⑥ 大雨被害の状況は。危険管理監 主な被害は大住小前道路の陥没、普賢寺小付近の冠水、松井区の床下浸水など。

⑦ 特別養護老人ホームの新設の見直しと進捗は。保健福祉部長 なるべく早期にと考えている。

⑧ 特別養護老人ホームの新設の見直しと進捗は。保健福祉部長 なるべく早期にと考えている。